

学会便り 第142回春期大会報告

第32回「女性会員の会」報告

The 32nd women's meeting of the Japan Institute of Light Metals

大島 智子

Tomoko OHSIMA

4回目のオンライン開催となった第142回秋期大会中、5月28日(土)12:10~13:10に、入退室自由の、第32回女性会員の会をオンラインで開催した。参加者は合計27名(女性23名、男性4名)。初参加は学部生・院生の方5名であった。

前回に引き続き、より多くの方に参加いただくために今回も講演大会に参加登録していない人も参加できるようにした。また、講演大会で発表を予定されている女子学生の指導教官を通して参加への働きかけを依頼した。おかげで11名の学部生・院生の皆さんに参加していただいた。働きかけをしていただいた教官の皆様には感謝申し上げます。オンライン開催で自宅から参加されていた方も多く、前回の女性会員の会で紹介されたお子さんたちの成長した姿を見かけることができた。

1. 自己紹介：氏名・所属、ひとこと

参加者には軽い自己紹介をしていただいた後、ブレイクアウトルームに分かれて、今回のテーマ「今、夢中になっていること、ハマっていること」で話をしていただいた。

1.1 夢中になっていること、ハマっていること

現在の研究テーマに夢中になっている、ドライブで景色のいい場所にてかけている、最近一人暮らしを始めて料理にハマっている、学内にいる猫の写真を撮る、絵を描く、アウトドライブを堪能している、サブカルチャー(コミック、アニメ、ライトノベル)を楽しむ、などの報告があった。ドライブにハマっている方からはおすすめスポットの写真をアップして絶景を共有するなど、オンライン開催ならではの場面もあった。

テーマの話をした後に学生から社会人への質問、ハマっていることからの会話の拡大があった。例えば、就学前児の子育て中の社会人に対して普段の生活パターンの質問や、結婚を機に姓が変わることについての質問、料理にハマっている学生さんから得意料理の質問などである。絵を描く、の話題から「子育てに必要なものは子供を追いかける体力、きれいな文字を書く力、子供に伝わる絵が描けること」との子育て経験者からの経験談に広がる場面も見られた。

ブレイクアウトルームでの会話は15分、10分の2ラウンドで実施し、自動割り振りで4~5人/部屋の部屋割りをした。少人数のグループに分かれると一部の方の話しか聞けない、というデメリットはあるが、対面で開催している時の「隣どうしの人とお話し」的な会話ができてよかったと思う。

1.2 中締め後の質問タイム

中締めの後に残った方で質問と回答が交わされた。初参加の学部生の方からは、社会人学生で博士号を取ることは可能か、との質問があった。中締め後に残っていた10人くらいのメンバーの中に社会人になってから博士号を取った方が3名おられ、それぞれの方から経験談を話していただいた。働きながら研究をして博士号を取ることは大変なので、修士修了後に博士課程へ進む道を提案される場面もあった。

男性の育児休暇取得に関する現状について質問が出され、企業の方から回答があった。企業・個人の事情によるものと思われるが、数日~1か月以上と育児休暇取得日数に大きな差があることがわかった。これはごく一部の方からの報告なので、他の企業ではまた事情が異なると思われる。託児室運営の参考にもなるので、今後も情報収集していければと思っている。



参加者の写真撮影 (2022.5.28)

2. おわりに

次の第143回秋期大会は対面式orオンラインで開催、どちらになるのかまだわからないが、女性会員の会も開催を予定している。女性会員の会は女子学生、女性会員だけでなく、女性を応援する男性方も歓迎している。飛び入り参加大歓迎、多くの方の参加をお待ちしている。

軽金属学会「女性会員の会」

<https://www.jilm.or.jp/page-resource04>